

編集後記

堀井憲一朗というエッセイストがお気に入りだ。牛井の適正な「つゆだく」具合について100店舗以上をめぐって調べてみたり、複数人で同じ本をアマゾンで同時に購入するとランキングはどの程度変動するかを調べたり、「冷やし中華始めました。」が張り出される時期について統計的に調べてみたり、と割とどうでもいいことを真剣に調べて考えて語るというスタイルが多い。

彼の文章の中に、「エースで4番という高校球児はいついなくなっただのか」というタイトルのエッセイがある。イメージ的に高校野球にはエース投手で4番打者という圧倒的なヒーローがいそうな気がしていたが、どうやらそうでもないらしい。文章を読むと、第1回大会では「エースで4番」は、出場チーム中の40%程度存在したらしい。ところが時代が進んで、1950年代になると20%に低下し、90年代以降には10%以下に低下する。この変化は、連続的ではなくて、それぞれの年代を境に段階的に変化したようだ。エッセイでは、これらの時代に高校野球になんらかの構造改革があったのでは、と結論している。

確かに多くの分野で、専門職や分業による成果の最大化をめざした組織構成が主流となっている。高校野球もそのトレンドから逃れられなかったのだろう。ここで思い出すのが米国エンゼルスで活躍する大谷翔平選手である。まさに「エースで4番」を地でいくような活躍を現代野球で行っている彼の凄さが堀井の文章を読んで余計に際立った。大谷選手には、怪我無く末永く活躍してほしいものである。(安原 亮)

編集委員を拜命してから、気づけば早2年が経とうとしており、もう任期終了です。新型コロナウイルスの影響や授業の関係で、対面での委員会にほとんど参加できなかったことはとても残念でした。今後、学会が対面で開催されるようになったら、オンラインでは話す機会のなかった編集委員の先生方ともお話しできればいいなと少し楽しみにしています。

さて、私は長野高専に所属しています。高専は、大学と同じ高等教育機関ですが、その実は大きく異なる場所です。教育に加えて、学生生活の指導も強く求められる点が最たるところかもしれません。担任教員は学生生活全般の幅広い指導が求められますが、他の教員も部活動等で学生生活の指導に携わることとなります。私はNHKで毎年放送されている高専ロボコンに出場するロボコン部の指導教員を務めています。高専ロボコンの大会ルールは毎年異なるため、プラズマが活躍できるルール(どんなルール?)を期待していますが、今のところはなさそうです…。ロボットの専門家ではない私は、技術指導はできませんが、大会関連書類の作成や会計管理、学生のメンタルケア、広報活動など様々な関連業務を行っています。こうした部活動業務に加えて、教育・学校運営など、多岐にわたる業務に追われて研究時間が十分に確保できない点は高専教員にとっての悩みと言えます。しかしながら、目標に向かって一心に頑張る学生の姿を見たり、その成長を身近に感じる事ができたりすることは、とても良い刺激です。思うように進まない研究に悩み、焦る日々ですが、学生に負けずに頑張りたいと思います。(山田大将)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：竹入康彦
副会長：安藤 晃 (推薦委員長：学会賞，研究部会連絡会委員長) 米田仁紀 (推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長)
常務理事：市口勝治 (総務委員長)
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 (財務委員長) 金子俊郎 (企画委員長)
木戸修一 兒玉了祐 小西哲之 白藤 立
花田鷹砂也 林 伸彦 (広報委員長) 藤田隆明 横峯健彦
渡邊隆行 (企業展示検討委員長，支部・地区研究連絡委員長) 和田 元 (年会運営委員長)
監 事：前田達志，立松芳典

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利(日大) 応用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) プラズマ炉工学 小西哲之(京大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，重森啓介(阪大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)
編集委員：安倍勇輝(阪大)，諫山翔伍(九大)，板垣宏知(産総研)，井戸 毅(九大)，上野一磨(中京大)，占部継一郎(京大)，枝尾祐希(量研)，呉 準席(大阪市大)，大谷芳明(量研)，加藤雄人(東北大)，河村学思(核融合研)，小林政弘(核融合研)，近藤康太郎(量研)，佐久間一行(弓削商船高専)，佐藤直木(東大)，柴田崇統(高エネ研)，鈴木陽香(名大)，辻井直人(東大)，中村浩隆(阪大)，畑 昌育(量研)，藤原 大(核融合研)，前山伸也(名大)，水口直紀(核融合研)，向井啓祐(京大)，本村大成(産総研)，森高外征雄(核融合研)，矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第97巻第7号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2021年(令和3年)7月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。